

北海道にある、元気まち



※コミュニケーションマークとスローガン (CI/元気まち運動)

白老町の町内会組織の歴史概要

昭和15年9月	政令により、行政の下部組織として町内会組織を義務化
昭和20年8月	終戦と同時に町内会廃止命令
昭和34年7月	「白老町区制に関する条例」が制定 (町内会の設置、区長の任命)
昭和54年9月	白老町町内会連絡協議会(以下「町連協」)が発足
昭和54年11月	町政懇談会が開催される(後の「まちづくり懇談会」)
昭和55年6月	北海道町内会連合会(以下「道町連」)に加入
昭和57年	区長制度が廃止
昭和58年8月	白老町で道南ブロック町内会活動研究協議会を開催
昭和58年9月	道町連共済に加入開始
昭和61年7月	町連協に企画総務委員会、社会福祉委員会を設置
昭和62年4月	町連協に婦人部を設置(平成7年～女性部に)
昭和62年9月	会報「町連協だより」を創刊
昭和63年3月	白老町がCI(コミュニティ・アイデンティティ)の推進を提案
平成元年10月	町連協10周年記念式典を開催
平成2年11月	CI導入(マーク、スローガン、ロゴが決定※左図のとおり)
平成5年4月	白老町町内会連合会(以下「町連合」)に名称変更
平成5年5月	町連合の事務所を現地に移転
平成6年4月	町連合のシンボルマークを制定
平成6年9月	会報を「町連合だより」に改称(第18号～)
平成7年1月	「CI運動」が「元気まち運動」に名称を統一
平成11年2月	町連合20周年記念式典を開催
平成12年10月	白老町で道南ブロック町内会活動研究協議会を開催
平成15年4月	町連合内に「町民まちづくり活動センター」を設置 行政担当の民間団体の事務局を町連合に一括統合
平成19年1月	「白老町自治基本条例」の施行
平成19年5月	白老町広報「元気」の編集業務が町連合に移管
平成19年9月	「町連合だより」の町広報「元気」掲載開始(第44号～)
平成21年2月	町連合30周年記念式典を開催
平成22年4月	白老町環境町民会議の事務局が町連合に移管
平成24年11月	会報「町連合だより」第100号を発行
平成25年11月	第1回白老町町内会基本調査の実施
平成27年4月	白老町が「集落支援員(現:地域支援員)制度」を導入
平成28年4月	町内会以外の支援業務を町民活動サポートセンターに移管
平成29年10月	第2回白老町町内会基本調査の実施
平成31年2月	町連合40周年記念式典を開催
令和2年4月	事務局組織の改編と町民まちづくり活動センターの再構築 町連合事務局と町民サポート室の体制、地域支援員の配置
令和4年4月	会報「町連合だより」の第200号記念特集号を発行

少子高齢化・人口減少社会に求められる 「地域コミュニティ」の対応力

昭和30年代半ばに、設置された町内会は、昭和57年の区制廃止以降も地域コミュニティの中心的役割を担ってきました。

平成に入り、「CI運動(元気まち運動)」が導入され、町のイメージアップや活性化、将来像の共有など

に取り組み、町民と行政による「協働のまちづくり」を進め、平成19年に「白老町自治基本条例」が施行されてからも、町民主体のまちづくりが継続されてきました。

令和の世になり、少子高齢化・人口減少社会がますます加速する今後に向けて、皆様と主体的に持続可能なまちづくりを進め、まちの将来像である「北海道にある、元気まち」を目指したいものです。

(町連合だより編集委員会・町連合事務局)